

平成23年度

# 鬼北町施政方針

町長が示した平成23年度の取り組み

3月8日に開催された鬼北町議会3月定例会において甲岡町長が平成23年度施政方針を説明しました。概要をお知らせします。

## ◎施政の取り組み

「厳しい時代だからこそ真価が問われるのだ」という緊張感と危機感を常に堅持しながら、時流に乗り遅れることのないよう個性的で魅力あるまちづくりを推進することが重要であると思っています。

住民の誰もが「鬼北町を愛している」、「鬼北町は安全・安心はもとより安息の地だ」と言っただけの魅力あるまちづくりを推し進めることが急務であると考えています。

まちづくりは、いかに個性と独自性を具現化するかにあると思っています。オンリーワン主義で独自性を発揮することにより、県内はもとより、国の内外で高く評価され、認知していただける町になると確信しています。何よりも自主・自立した自治体として、その存在感と価値観を高めることになると強く主張するものであります。

こうした施政の基本理念に基づき、次のとおり施策の概要を掲げ、住民の福祉の向上に努めます。

## ◎施策の概要

### 行財政改革

#### 行財政改革の推進

住民との対話と協調を進めながら、行財政改革の計画的な取り組みにまい進し、諸々の施策や事務事業の選択を行政自らの責任で行うことが重要であると考えています。

厳しい財政状況が続く現在、一層の行財政改革を推し進め、行財政の健全化に努めます。そのためには、経常的経費の削減をはじめ、各種補助事業等の見直しを行います。また、町有財産等の適正な管理と有効活用を図り、事業の民間委託の促進、行政評価システム等の導入を検討し、事務事業の見直し等を進めてまいります。

総人件費の抑制を図るため、職員の退職による補充を抑えるなど、職員定数の適正な管理を行いつつ、常に問題意識をもって仕事に取り組み職員の育成に努めてまいります。

さらに、税収の確保については、課税客体的な確かな把握に努めるとともに、町税等の未収対策に引き続き積極的な取組を行い、基幹財源の確保に努めます。

#### 参画と協働

住民の方への情報提供や民意の把握に努め、まちづくりへの関心を高めることで、地域社会への広範な住民参画を促し、個性豊かなまちづくりに努めます。

また、「広報きほく」やホームページなど、あらゆる媒体を利用して情報提供に努めるとともに、住民の皆さんとの対話も積極的に行います。

参画と協働の実現には、住民の自主的な活動を支援し、拡張していくことで相乗的な効果となつて現れてくるものであると考えていますので、効果的な支援策についても検討します。

### 福祉

#### 子育て支援の充実

子育て支援については、多様な保育ニーズに対応できる体制づくりに努めるとともに、少子化時代の子育てを支援し、早朝・いのこり保育や障害児保育を継続して実施します。また、乳児保育実施のための施設整備の充実等、子どもたちが健やかに生まれ育つ環境づくりに取り組めます。

また、少子化対策の一環